［新年号特別企画］第3部 Volume.01

GIFU LEADER´S VOICE 2021

岐阜商工信用組合

理事長 森嶋 篤男氏

新人研修を1年かけ基礎徹底

―昨年は第4期の3カ年経営戦略の1年目でした。手応えは。

第4期は昨年3月末に完成し、4月からスタートしました。これまでのトップダウン型と違い、経営企画室の若手職員が中心となってボトムアップ型で内容を考えました。テーマは「楽しい職場、誇れる仕事」を掲げました。第3期までは組織力を高め、事業性融資営業を強化しました。融資量も順調に積み上がり、職員も自分たちが何をすべきか見えてきました。第4期の1年目はテーマを実現するための企画づくりで、2年目に実践し、3年目に見直す計画です。今年は企画を実行し、楽しい職場で誇れる仕事に近づけるようなステップの年にしたいです。

―具体的な取り組みは。

まず社内報をつくりました。最近はやめていましたが、地域密着を掲げているので、10年近く転勤していない支店長も出てきました。そうすると、多くの職員は顔を見る機会がありません。職員同士が顔を知らないのは困るという声もあり、それを補うのは何かと職員が自分たちで考えました。

―研修制度も職員が考えました。

20、30代を中心に中途採用を強化しています。ただ金融経験のまったくない人もいて、中途採用者の教育制度が不十分だったことに気付きました。新人も本部で1カ月研修したら教育は支店任せにしていたので、研修制度を見直しました。新しい制度は、新人、中途採用者ともに1年かけて基礎を徹底的にたたき込みます。そうすると支店も戦力として迎えることができます。

―営業マネージャーといった若手の教育制度は。

引き続き完全マンツーマンのOJT（職場実習）に取り組んでいきます。誇れる仕事はちゃんと教わらないと分かりません。楽しい職場はみんなでつくることが大事です。一人だけで仕事を頑張っても楽しくない。そこはチームで取り組むのが理想です。

概　要

〒500-8812　岐阜市美江寺町二丁目4番地3
TEL.058-265-2241

設　立　昭和28年9月
組合員数　66,535人
出資金　82億850万円
預　金　2,549億7,905万円
貸出金　1,687億9,246万円
常勤役職員数　305人
事業内容　一般金融業務
店舗数　岐阜県内22店舗
※2020年9月30日現在

https://www.shoushin.co.jp/

岐阜信用金庫

理事長 住田 裕綱氏

課題解決に応える営業に注力

―コロナ禍が続く中で2021年を迎えました。

今年も当面の間は新型コロナウイルスに関する対応、対策が続いていくでしょう。夏に控える東京五輪・パラリンピックは開催による景気上昇効果が見込まれます。観客や海外渡航者といった課題がありますが、開催への期待感は強いものがあります。また、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標が掲げられ、今年はその取り組みの元年になると思います。デジタル庁創設の動きも含め、各企業の捉え方に違いはありますが、産業への影響も出てくるはずです。

―今年の抱負は。

20年度から新たな中期経営計画に入り、今年は2年目を迎えます。昨年はコロナ禍ということもあり、取引先の資金繰り支援を早い段階から行いました。次はその先にあるお客さまの個別課題をどう支援するかというステージに入ります。課題解決型の営業に注力し、活用できる金融ツールや外部専門家の知恵を借りながらどれだけのサービスを提供できるかが重要です。職員は頭の中にいろいろな引き出しを用意し、経営者の顔を見て課題や問題に耳を傾けて課題解決に応えることができれば、課題解決型営業の深化につながると考えています。

―店舗のお昼時間休業といった働き方改革の成果や今後の取り組みについての考えは。

お昼時間休業は勤務管理の適正化や効率的な店舗運営を目的に、職員が比較的少ない個人特化型店舗を中心に展開しています。休業時を除いた営業時間帯にフルメンバーの態勢でお客さまに対応でき、店頭での待ち時間の解消や事務作業の効率が改善し、満足度を高められると考えています。「お客さまの利便性の維持」「職員の仕事と家庭の両立支援」の両面で効果的な取り組みについては積極的に導入していければと思います。

概　要

〒500-8562　岐阜市神田町6丁目11番地
TEL.058-265-1151

設　立　1924年3月
出資金　208億円
預　金　2兆4,770億円
貸出金　1兆3,735億円
常勤役職員数　1,454人　（2020年9月30日現在）
事業内容　預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替業務、社債受託業務、金融先物取引等の受託等業務、付随業務
店舗数　89店舗（岐阜県内60店舗、愛知県内29店舗）
（2021年1月1日現在）

https://www.gifushin.co.jp/

株式会社岐阜造園

代表取締役社長 山田 準氏

「積水ハウス」と業務提携

―昨年、社長に就任されましたが、抱負をお願いします。

昨年11月に社長に就任しました。前社長の小栗達弘会長は、在任中に大阪・景匠館のM&Aや造園業界初の株式上場、新社屋・パインズの森の建設、東京オフィスの開設、積水ハウスとの業務提携など当社発展の礎を築かれ、将来の進むべき方向性もしっかりと示されました。小栗会長の経営方針を踏襲し、当社の強みである「匠の職人型現場力」を更に強固にしていきます。

―造園技術の進歩とは。

特に関東では、都心に森のような空間を造る大規模な開発によって、密度の高い植栽が行われています。建物全体を緑で覆う技法も年々進歩し、ベランダの蛇籠植栽、プランター植栽を含めた高度な造園植栽技術が普及してきています。

関西のホテルや高級な個人邸では、里山のような植栽技術が進化しています。植木生産者も里山風の樹形木を生産し、自然林の里山景観の中での暮らしを提供しています。

これらに比べ中部地方のランドスケープの景観構築は少し遅れているように思われます。

―求められる造園技術とは。

昨今現場では、スムーズで高品質でより安全な施工のための即応能力が問われるようになってきました。工程や設計変更の際、デジタルを駆使し素早く対応できる施工管理者の教育が重要になっています。

―今後の方針を。

これからは、職人集団が自然植生に秀でた技術集団でないと負け組になってしまうため、造園技法を更に磨き自社ブランド力を高めていきます。また、東京の大手ディベロッパーや設計事務所からの引き合いも多くなっており、今年は関東圏での増員を図りお客さまへの対応を充実させ、「匠の職人型現場力」のPRに努めてまいります。

概　要

本　社　〒500-8268　岐阜市茜部菱野四丁目79番地の1
TEL.058-272-4120
名古屋支店　〒451-0052　名古屋市西区栄生三丁目21番6号
東京オフィス　〒100-0005　東京都千代田区丸の内2-2-1 6F
大阪オフィス　〒532-0005　大阪市淀川区三国本町1-6-11

創　業　1927年（昭和2年）3月
設　立　1966年（昭和41年）1月
資本金　3億9,641万円
従業員数　115人（連結）
事業内容　造園緑化工事の設計・施工・メンテナンス
連結子会社　株式会社景匠館

http://www.gifu-zohen.co.jp

PINES エクステリアガーデンショップ
http://www.ex-pines.com

景匠館
http://www.keishokan.jp

岐阜大学

学長 森脇 久隆氏

航空宇宙の基礎研究力を強化

―昨年4月、全国第一号となる岐阜大と名古屋大が統合した新法人「東海国立大学機構」が発足しました。

事務組織の効率化を速いスピードで進めることができました。両大の強みとする分野の知と経験を生かし、国際レベルの競争力、研究力、教育力を強化していくために、統合後は新たな拠点づくりや基盤整備を進めてきました。新たな年は、さらに国際的な競争力の向上と地域創生への貢献を発展的に広げていきたいと思っています。

―昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大学のあり方も大きな変革を迫られました。

対面授業と遠隔講義を平行する中で長所、短所も見えてきました。研究や実習は現場があってこその学びですが、遠隔講義では学生が計画的に時間を使えることから、成績が伸びた科目もありました。形を変えた学びの答えは数年後に出るのでしょうが、もう対面講義のみの時代には戻らないでしょう。

―両大が協働で教育改革を進める組織「アカデミック・セントラル」を設置していますが、どのような改革に取り組んでいるのでしょうか。

理系・文系にかかわらず、確実な根拠を示す上で数理的処理に基づくデータが求められる時代になっています。1、2年を中心とした全学共通教育は一元化し、データを分析・判断する数理・データ科学教育という実践的な教育改革を進めているところです。

―今後、どのような研究拠点の整備を進めているのでしょうか。

航空宇宙融合教育研究拠点の4月の開所を目指しています。東海地方には航空宇宙生産の約50%が集中しています。コロナ禍の今、航空業界は厳しい状況にありますが、これからの国際競争を見据え、今こそ基礎研究力をつけるべき時です。岐阜大が持つものづくりの強みを生かし、将来的には自動車産業のような、世界をリードする産業としての生産技術の確立を目指します。

概　要

〒501-1193　岐阜市柳戸1-1
TEL.058-230-1111（代表）

設　立　1949年5月
学生数　7,257人（大学、大学院合わせて 令和2年度）
学　部　教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部
大学院　教育学研究科、地域科学研究科、医学系研究科、工学研究科、自然科学技術研究科、連合農学研究科、共同獣医学研究科、連合創薬医療情報研究科

https://www.gifu-u.ac.jp/

岐阜大学医学部附属病院

病院長 吉田 和弘氏

スマートホスピタル化が進展

―昨年を振り返って。

昨年4月に名古屋大と法人統合し「東海国立大学機構」が発足したというのが大きなトピックスで、礎を築く上で重要な年でした。両大学の連携で、先端技術で課題を解決する社会「ソサエティー5・0」の実現に向けた青写真が描けてきたところです。

これまで当院では四つの柱として、情報通信技術（ICT）などを活用し診断や治療の効率化を図るスマートホスピタル化による地域医療の中核拠点としての役割を果たすこと、新たな標準治療を創成できる病院を目指すこと、国際的にも活躍できる人材の育成、働き方改革の推進を目標に挙げてきました。新型コロナの影響で、病院として大きなダメージを受けたのも事実です。ただそれをバネに、病院全体が一致団結でき、目標の実現に向けた取り組みが明確化できたと感じています。

―スマートホスピタル化に向けての具体的な動きは。

今年の12月にハイブリット手術やロボット手術対応の手術室が入った手術棟が完成します。日中にできる手術が増えるため、手術までの日数短縮や医師の働き方改革につながるでしょう。

併せて入退院センターや敷地内薬局も整備し利便性を高めます。オンラインでの診療や服薬指導、地域の医療機関との連携についても整いつつあり、かかりつけ医が当院の外来のような役割を果たす機会も出てくるのでは。その元年にしたいですね。

―標準治療の創成に向けては。

2年前に当院と三つの病院が岐阜医療圏コンソーシアムを編成し、治験が行いやすい環境を整えました。名古屋大とは、データを統合しながら電子カルテを共有化していくプロジェクトが進んでいます。臨床研究体制を地域一体型で進めていきたい。東海地方が日本の先頭に立って新しい体制を樹立したいというのが抱負ですね。

概　要

〒501-1194　岐阜市柳戸1番1
TEL.058-230-6000（代表）

設　立　1967年6月
診療科目　内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科
職員数　1,651人（令和2年12月現在）
指定承認　特定機能病院、臨床研修指定病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センター、難病診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院、エイズ治療の中核拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、原子力災害拠点病院、岐阜県アレルギー疾患医療拠点病院

https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/

新たな変革への挑戦

無断複製・転載を禁じます